



学校経営管理全体計画 <構想図>

令和5(2023)年度
栗東市立大宝東小学校

| 要求事項 |
|---|
| ○教育関係法規 ○学習指導要領 ○国・県・市の教育振興計画、教育指針 ○機関が求める取組 |

| 学校教育目標 |
|---|
| 心あたたか活気みなぎり 仲間と共に伸びゆく子 |
| 本年度の重点目標 |
| 1. 主体的・実践的に学ぶ子どもの育成に向けて、授業改善・授業力向上に取り組めます |
| 2. 一人ひとりを大切にする人権・同和教育、特別支援教育を推進します |

| 保護者・地域の願い |
|---|
| ○確かな学力を身に付けてほしい。 ○明るく元気で思いやりの気持ちをもってほしい。 ○規範意識をもってほしい。 ○わか町、ふるさとを愛してほしい。 |

| 本校の強み |
|---|
| ○学校生活のきまりや習慣が身に付いている子が多い。 ○友だちと仲よくしようと意識している子が多い。 ○学習課題や決まっている家庭学習について真面目に最後までやり遂げようとする子が多い。 ○施設等の学習環境が整っており、家庭の教育力も高い。 ○保幼中、地域との連携体制がある。 |

| めざす子ども像 | | | |
|--|---|---|--|
| だれにでも優しい子 思いやり・感謝する心 | いきいき学ぶ子 主体的・対話的に深く学ぶ力 | ひととつながる子 協調性 コミュニケーション力 | がんばりぬく子 忍耐力・やり抜く力 |
| 取組の柱・重点取組 | | | |
| ①こころづくりの取組 「自他を大切に、ちがいを認め、だれとでもつながっていける姿」の育成 | ②まなびづくりの取組 「自分のために自ら進んで学び方を身に付けていく姿」の育成 | ③なかまづくりの取組 「主体的に様々な人と関わりながら、より良い学校生活の実現に向け行動していく姿」の育成 | ④くらしづくりの取組 「いつでも、どこでも、だれとでもやりぬく姿」の育成 |

| 本校の課題 |
|---|
| ○自己表現力が弱く、良好な人間関係を作りにくい子がいる。 ○子どもや保護者に相談しやすい雰囲気や教育相談体制を工夫する必要がある。 ○意欲的に家庭学習に取り組めるよう工夫する必要がある。 |

| 保護者連携 |
|---|
| ○取組に関わる情報をきめ細やかに発信する。 ○子どもに関わる情報を共有する。 |

| 具体的な取組 | | | |
|--|---|---|---|
| ・「ほかほか掲示板」を通じた心の耕しの取組 ・「なかよしの日」での全校一斉の取組 ・各学年での人権教育・情報モラルの充実 ・教職員研修を通じた力量形成 | ・学びグッズによる環境づくり ・ノート掲示(年2回) ・「家庭学習の手引き」「学び通信」の発行 ・読書タイムの充実(教師による読み聞かせの取組) | ・学級での話し合い活動と実践の積み上げ ・学期ごとの代表委員会の開催、子どもの思いの実現化 ・委員長会議、代表委員会の連携 ・ペア交流の充実とクラブ活動等を通じた異学年交流 | ・あいさつ+4項目(廊下歩行、掃除、給食、時間)を毎月重点化。 ・強化月間生活目標と委員会活動等とのタイアップによる主体的な子どもの取組 |

| 機関連携 |
|---|
| ・発達支援課 ・家庭児童相談室 ・児童生徒支援室 ・少年センター 等 |

| 栗東西中校区連携 |
|--------------------------------------|
| ○0歳から15歳までの一貫した子育て教育を目指して、保幼小中が連携する。 |

| めざす教職員像 |
|--|
| ・一人ひとりが自己有用感を得られ、温かく、いじめや差別を許さない学級づくりをめざす ・授業の中でつけたい力を明確にし、子どもの意欲を引き出すよう努力する ・教育実践上の課題を明確にし、自ら学び続ける ・子どもの思いや悩みを温かく受けとめ、根気強く関わる ・保護者、地域の願いを受け、全力で大宝東小のよさや伝統をつなぐ |

| 経営方針 |
|--|
| ○子どもや保護者の声を丁寧に聴き、重要課題を見極め、方策を立てて組織で対応する ○「地域の中にある学校」を教職員全員が意識し、協力で感謝して協働する ○互いを尊重し合い、一人ひとりがいきいきと教育実践や業務に励める職場づくりに努める |

| 地域連携 |
|---|
| ・自治会・地振協 ・民生委員・児童委員 ・コミュニティセンター ・スクールガード ・保護者ボランティア 等 |